

令和 5 年度 評価・反省

- ◎職員間の情報共有…昼礼や職員会議を通して各クラスの様子について細かく共有できたので、他クラスに入った時も安心だったという声がありました。しかし一方で、担任不在時に他クラスへ入る際、流れややり方が変わっていることが多かったため、変更点を事前に伝えることを徹底する必要があります。
- ◎子どもの主体性を培う…遊びでは、怪我につながることを以外は制限をかけず子ども一人一人がやりたいことを思い切り楽しめるようにしました。また、玩具や製作、様々な場面で「選択」できるようにしました。子どもが自分で考えて取り組んでいることを大いに褒め、自信につながるようにしました。「どうやってやったの？」等、子どもに問うと嬉しそうに教えてくれ、意欲ややる気が高まったと感じています。
- ◎SDGS の取り組み
働きがいも経済成長も…職員間でコミュニケーションや挨拶を多く交わしたことで日々明るく、気持よく働くことができました。体調を崩したり休んだりした時に心配したり、気遣ったりする言葉がけが多く聞かれ、良い雰囲気を感じました。
行事等で製作したものをすぐに処分することが多く、もったいないと感じています。長く使えるものを作ったり、今まであったものをリメイクする等工夫をすると、時間、労力、経費が抑えられるのではないかと感じています。
- ◎令和 5 年度は東林地区社会福祉協議会理事として、定期的に行われる会議に出席しました。11 月に行われた福祉まつりでのバザー用として保護者の皆様に服や玩具、絵本等の寄付をお願いしたところたくさんの用品が回収でき、バザーに役立てることができました。
- ◎コロナに関しては、世の中の動きを見たり、様々な所からの情報を得て、感染者数が少ない時には保育園のルールを緩和しながら過ごしました。見極めが難しい時もありましたが、子ども達にとって今しか出来ないことがあるので、感染症対策をやり過ぎないように気を付け、臨機応変に対応することを心掛けました。感染者はいましたが少人数で済み、感染対策の効果かインフルエンザは 1 名も出ませんでした。
- ◎新たな試みとして、0 歳児クラス対象の「オムツのサブスク」を取り入れました。オムツやおしり拭きを買う手間が減ったり、オムツへの記名がなくなったと好評です。(使用済みオムツの持ち帰りはありません)
また、5 歳児クラス対象の「プログラミング教室」を始めました。講師の先生の指導の下、一人一台タブレットを持ちゲーム感覚で楽しんで取り組んでいます。
- ◎地域の方対象の取り組みとしては「ぴよぴよ広場」「ベビーマッサージ」「園庭開放」を実施しました。コロナ対策のため人数を限定したことにより、参加出来なかった方々がおり、申し訳なく思っています。令和 5 年度は受入れ可能な人数を増やして実施する予定ですので、奮ってご参加ください。

今年度の評価・反省を生かし次年度につなげていきたいと思っております。